

通所介護事業所の期日前投票の支援について

1. 現状

本市の投票率は年々減少しているが、高齢者については高い投票意欲を示めている。一方で、高齢化に伴い、身体的な課題により投票ができない方々が増加しており、これらの方に対する支援策が、国としての課題となっている。

国は郵便投票の拡充等を検討しているが、実施までには時間を要することから、本市においては通所介護事業所の協力により、可能な範囲で期日前投票所を活用した投票を事業の一環として取り込むようにしたいと考えている。

2. 具体的な内容

期日前投票（今回の県議選では3月30日から4月6日）間、通所介護事業所で協力いただける事業所は、朝の送迎時に投票の希望を確認し、希望者についてデイサービス事業内で投票所までの送迎を行う。

注1 あくまでも強要ではなく、本人の申し出に基づき行うものである
ので、その趣旨を遵守すること

注2 投票所入場券は持参が望ましいが、投票所での再発行も可能である
ので、ない場合は投票所係員にその旨話していただきたい。

介護支援専門員においては、本人の意思を確認し、ケアプランにおいて、本人の自立を促進するため、参政権等の権利の保障を的確に行う趣旨を、プランに明記する。

注1 今回の県議選ではすでにプランの配布が終了しているものもある
と思われるため、自立支援の趣旨が明記されていれば可とする。

ただし、次回の参議院選からは事前に明記をお願いしたい。

3. その他

期日前投票所については、選挙パンフレット記載のとおりで、本市での選挙権を有していれば、どの場所でも投票可能である。

投票所に到着の後、入口までの介助をしていただければ、投票所内は市の係員が対応するので、到着した旨係員に伝えていただきたい。

不明な点は、地域包括ケア推進課（21-2251）、選挙管理委員会（21-2531）へお問い合わせいただきたい。